

## 生駒市ごみ減量市民会議(第4回) 会議録(要旨)

1. 開催日時 平成28年12月16日(金) 午後1時30分～午後3時30分
2. 市役所4階401・402会議室
3. 会議次第

### 報告事項

- (1) あすか野自治会懇談会について
- (2) いこま博での啓発活動について
- (3) 「ごみ減量化に向けて」アンケートについて

### 協議事項

- (1) 自治会懇談会について
  - ・西地区自治連合会
  - ・中地区自治連合会

### 4. 出席者(敬称略)

【参加者】坂本 剛伸、藤堂 宏子、淡輪 勝人、藤澤 清二、山下 博史、田中 勝久、藤尾 庸子、石川 千明、下山 一則、奥田 高弘、小山 忠昭、山口 昭夫、藤中 章夫、寺井 孝幸、中谷 充隆

【事務局】吉岡(市民部長)、吉川(環境保全課長)、竹本(環境保全課課長補佐)、大窪(環境モデル都市推進課課長補佐)、西井(環境保全課事業係長)

5. 欠席者(敬称略) 永野 洋子
6. 傍聴者 1名
7. 会議内容(要旨)

### ●あすか野自治会懇談会について

事務局 <資料「生駒市ごみ減量市民会議あすか野自治会懇談会 記録(要旨)」の説明>

座長 質問や自治会懇談会の感想などがある人はお願いします。

参加者 懇談会に参加された皆さん、熱心に分別していただいていると思いますが、プラスチック製容器包装の認識間違いの質問もあり、それを訂正する時間が厳しいと思いました。施設の見学と併せてできたらもっと説明しやすいと思いました。

参加者 今回の懇談会は男性の参加者が多かったと思いました。活発な意見がたくさん出てよかったと思います。

座長 萩の台住宅地自治会の懇談会と同様に、非常にこまかく意見が出て、それに回答していると思いました。

参加者 懇談会には関心を持った人しか出てこないの、関心を持たない人にどうやってしてもらうかが大事だと感じました。

参加者 あすか野自治会は世帯数が多いのに対して出席者が少ないと思いました。興味のない人にどうやったら参加してもらえるのか、良い方法を考えないといけな

いですね。

参加者 あすか野自治会の場合、自治会の役員を対象に懇談会を行いました。役員の人は、事前に各班などに意見があるかを聞いたうえで懇談会に参加してもらったと伺っています。懇談会で出てきた意見は萩の台住宅地自治会と同じようなもので、市民が関心を持っていることはどこでも差異はないのかと思います。

座長 今年度はあと 2 つの自治会での懇談会を予定しています。またアンケートを実施し、市民の声を聞きました。懇談会やアンケートは実施が目的ではなく、あくまでも来年度に向けてどう活動するかの情報収集です。本日も関心を持たない人にどうするかという課題がありました。懇談会では、ごみの有料化以降に燃えるごみが減ったかという質問では多数の手が挙がりまし、生ごみ処理機等に補助金が出ることをより PR したら良いという意見もありました。生ごみに対してなんとかしなくてはいけないという声もありました。

参加者 懇談会の会議録 6 ページで、「ご意見」と書いた部分がありますが、何か回答はしたのですか。回答したのであればどういった回答をしましたか。

事務局 答えとしては出ていません。

参加者 会議録で、ミックスペーパーとして出せる大きさが名刺サイズ以上とありますが、シュレッターごみと併せて処理の方法等を教えてほしい。

参加者 シュレッターごみはいこま紙というトイレットペーパーに再生し、他のミックスペーパーは雑誌といっしょに混ぜて別に資源化されます。細かいほど繊維がとりにくく、再生するときのロスが多くなるようです。名刺サイズ以下でもリサイクルはできないわけではないが、細かすぎるとリサイクルしにくいと聞いています。

参加者 ごみ減量市民会議パンフレット裏面で「燃えるごみの日に出してください」ということであれば、燃やすと勘違いされないかと思いました。

参加者 「燃えるごみの日に出してください」の後に「再生します」という一文が必要ということですね。

参加者 ごみについて詳しく、リサイクルしていることを知っている人はそんな発想しません、いまだに燃やしていると捉えている方も多いのは事実です。

座長 ごみについて知らない人は「燃やすのではないか」と発想するというのは貴重な意見で、そういった人を考えて啓発物を作らなくてはいけないと思いました。

#### ●いこま博での啓発活動について

事務局 高山サイエンスプラザでは、ごみ減量市民会議の紹介をしたパネル展示・シールで簡単に答えてもらえるアンケートを行い、アンケートの回答者には 150 の家庭系の指定袋を配布しました。当初予定は 500 名でしたが、それ以上の参加がありました。直接ごみの話もしながらアンケートを行えました。

事務局 <ごみ減量市民会議アンケート結果集計（いこま博 2016）の説明>

事務局 真弓小学校体育館では、キエーロの実物展示やキエーロの使い方の DVD の放映、

小学生のキューロ自由研究発表の展示を行いました。体育館内で他のイベントも行っており、展示をご覧になる人は少ない印象でした。次回の開催では、場所などの検討が必要です。いこま博ではリーフレットを配布しましたが、次回またリーフレットを作るときは裏面に違うものの啓発をしたいと思います。いこま博にあわせてスタッフジャンパーを作成したので、今後自治会懇談会等でも着用いただきたいと思います。

座長 いこま博では、すでに会場のレイアウトが決まっているところに無理やりこの会議の場所を設定してもらいました。

参加者 住民の方々と直接お会いして生の声を聞いてやりがいを実感できました。高山サイエンスプラザの会場では、意外とたくさんの方が来てくれて良かったです。

参加者 アンケートは直観的に答えられるので、本当の答えではないかと思いました。

参加者 会場に来られる人は意識が高い人が多いかもしれません。「分別していますか」の問いに「当たり前やん」とつぶやきながら貼る人もいましたが、ミックスペーパーなどの分別を知らない人もいました。会場では、ミックスペーパーがなにかなどを直接説明もできたのが良かったと思います。分別について奈良先端科学技術大学院大学の留学生も会場に来ていましたが、留学生も正しくごみの有料化を認識し、ミックスペーパーを分けているようでした。それぞれの国で考え方が異なるので、日本の分別がややこしかったという人もいて、ごみの有料化のルールは知っているが指定袋そのものがごみという人もいました。

参加者 天気も良く家族連れも多かったです。アンケートでは、親が子どもに説明して、子どもにシールを貼ってもらう家族もいました。子どももごみに関心持ってもらえて良かったと思います。

座長 真弓小学校体育館ではどうでしたか。

参加者 場所の設定が良くありませんでした。目立たなかったのかもしれませんが。キューロを普及させたいが、啓発もまだまだ必要だと思いました。

参加者 ECO-net 生駒で食品ロスのクイズを 100 名分の用意をしましたが、参加した人は 50 名弱でした。同じ会場でプラレール広場、かえっこバザール、おもちゃ病院をしていて子連れの若いお母さんが多かったが、子どもの面倒を見ることが精いっぱい、ごみのクイズをやっていただけないと感じました。ごみのことはもう少し上の世代の方が関心を持ってもらえると思います。

座長 高山サイエンスフェスティバルでは、環境フリーマーケットやもったいない食器市などを開催していて、食器市のついでで会議のブースを見てもらえたと思います。また、指定袋を配布したので皆さんに喜んでもらえました。会議のアンケートは簡単に答えられるものですが、ECO-net 生駒のクイズは難易度が高いものでした。大事な知識ですが、答えるのは少し大変ではないかと思いました。キューロの小学生の自由研究は今後どこかで使わないのですか。

事務局 どこで利用したら良いか皆さんの意見を聞きたいです。

参加者 市役所に展示できたら良いと思います。

事務局 市役所のキエーロ展示場所に展示するのも良いかもしれません。

●「ごみ減量化に向けて」アンケートについて

事務局 <「ごみ減量化に向けて」アンケート集計結果の説明>

事務局 市長が記者会見でアンケートを実施したことの説明をします。新聞に載せるかは記者の判断になります。

座長 アンケートの結果について意見はありますか。

参加者 アンケートを読んで感じたところでは、ごみ有料化による収入を市民に還元してほしいという意見が多いということです。大型ごみや燃えないごみの出し方の不満が多いとも感じました。情報が伝わっておらず、広報紙でごみの減量に取り組む人を紹介するとか広報活動の必要があると感じました。

座長 市民の考えが変わってきたのかなと感じました。Q16で「4 家庭系ごみ処理の有料化」を「非常に効果的と思う」の回答の割合が平成25年度調査時点と比べて倍近くになっています。たくさん自由意見がありましたが、それはごみに関して興味がたくさんあるということかと思えます。いこま博でのアンケートでもごみは減ってきていると市民が感じていると思いました。自由意見を一通り見たところ、批判的意見が多々ありましたが566件のコメント中、独断で見てみたところ100弱は批判的な意見と見受けましたが、これは全体に対して2割以下です。前のアンケートやトライアル計画を通じて、30%は環境のためにごみの有料化は必要と前向きで、40%は仕方ないと思っている人、30%はごみ有料化に批判的な人という印象でしたが、仕方ないと思う人が5割くらいに増えてきたのではないかと感じました。ごみ有料化で得た収入をどう使っているのかという質問が出ていることや、分別が必要なのかという意見等があるが、今後、啓発していかなければいけません。また大型ごみの話で、ある市民が目覚まし時計の捨て方を市役所に問い合わせたところ大型ごみとして有料で捨てるように言われたとのことでしたが、無料で捨てられる小型家電回収ボックスに入れば良いのではありませんか。

事務局 ボックスに入るような大きさであれば入れてもらえます。

座長 どこにミスコミュニケーションがあるかは分かりませんが口コミで伝わっていくことが恐い。木の出し方等難しい面もあるが、できる限り不満を消していくほうが良いと思います。また、うれしかったのは「有料化に反対だったが、意義があったと思った」というコメントがありました。提案事項もあり、戸別収集など難しい問題もありましたが、できるものをピックアップしていけば良いかと思えます。

参加者 「Q5 何人世帯ですか」という質問の回答は、生駒市内の所帯割合とほぼ同じですか。

事務局 正確には調べていませんが、極端に割合がずれているという印象はありません。

座長 アンケートを受けて、皆さんに確認したいことが3点あります。アンケートに

答えている人の年代を見たところ 20 歳代 30 歳代がほとんど答えていません。懇談会でも若い人は少ないです。ごみの活動全所帯が対象で、アンケートに回答しない人にも活動してもらわなくてはいけません、これでは若い人の意見が聞けていないことになります。

参加者 若い人は無関心なのでは。20・30 歳代への問題提議は必要だと思います。市民活動には消極的な世代だが消費活動が一番高い、その世代への啓発が必要です。50・60 歳代はおそらく意識が高く、若い世代にどう PR すれば良いか考えていきたい。いこま博のプラレール広場などは若い人が多かったのですが、プラレール広場の壁面を使うのも良かったと思いました。見てほしいのであれば、見てもらえるような場所に持って行くべきです。啓発の機会をつくるなら 20・30 歳代のお母さんに関心を持ってもらえるかを考える余地が必要です。

参加者 若い人は共稼ぎが多く、ごみどころではないのかもしれませんが。そういったところに原因もあるかもしれません。

座長 次年度、若い世代に向けてどうしていくか考えていくべき。

参加者 発送したアンケート 2500 通の年代別の内訳は分かりますか。

事務局 無作為抽出なので数字は出せませんが、万遍なく送っているはずで。回答率からいけば 50%から回答が得られていませんが、率の少ない 20・30 歳代が多いと考えられます。

参加者 若い世代の実際の声を知るためには、子育てサロンなど若い世代が集まる場所にこの会議のメンバーが出かけて行く必要があると思います。難しいことは抵抗感があると思うので、いこま博でした簡単なアンケートをしながら話を聞いたら良いと思います。

事務局 みっきランドの所長と相談したところ「中では子どもが遊びたがるから難しい。来られたときや帰られるときに 1, 2 分もらったり、エレベータールームにパネルを置いたりできるだろう」とのことでした。みっきランドで一回ごみの講座をやったことがあるようです。来年度のカリキュラムに講座を組み込んでもできるのではないかと声をかけています。

参加者 子育てサークルのリーダーが集まる場で話したら「子育てサークルの場で聞いてみたい」という声がありました。この会議でできることを 1 枚の用紙でまとめてもらったら会員さんに配ることができます。みっきランドの壁面にアンケートを 1 週間などで貼り続けておき、関心のある人が持ち帰りできるちらしを置いておくこともできるでしょう。教室だと消極的になってしまう人もいるかもしれません。

座長 いこま博で直接話すことが大切と分かりました。

参加者 みっきランドは来たり来なかつたりなので対話は少し難しいかもしれません。0 歳児の初めてののお母さんや生駒市に引っ越したばかりの人も多く、そんな人に向けて何かできたら良いかと思いました。

参加者 高山サイエンスプラザでは、若い世帯でも無関心ということをあまり感じませ

んでした。アンケートの数字上では回答数が少なくなっていますが、決して無関心ということはないと思います。

座長 アンケートでは、ごみ有料化のお金をこう使ってほしい、明確にしてほしいという意見もありました。

参加者 何にいくらを使ったかを示す必要があると思います。

事務局 ごみ有料化の収益で約 1 億 5000 万円、作成費に約 5000 万円、補助金が約 8000 万円で、残り約 1200 万円が一般財源に入っています。

参加者 電子黒板を購入する等小学校や中学校での ICT 教育に使えば良いのではないかと思います。家庭系のごみの収益が有効利用されていることをお母さんたちに PR できると思う。

事務局 基本はごみ関係の補助金で、他は環境に対する補助金関係に充てさせてもらい、それ以外となると普通の税金になるかと思っています。

参加者 ごみ関係と言いますが、財源は一般会計であり、特別会計にはしていませんね。家庭系ごみの費用として集めたものなので、特別会計にして焼却場の費用などに充てるなども一つの考え方だと思います。

参加者 この会議は財源をどう使うかがテーマですか。家庭系の燃えるごみを 25%削減の目標があり、そのためにやるべきことをするべきでは。

座長 この会議としてアンケートを出し、それに対し「お金をどうするのか」という回答があるのでその議論をすべきです。来年度の活動の大きなテーマとして、有料化の成果の PR があります。余剰金をどうすれば市民が納得し喜ぶのかということに対して意見をいただきたいということです。

参加者 太陽光発電システム設置システムの補助金はごみと関係ありませんので、ごみと関係のあることに使うべきだと思いました。

事務局 ごみ半減プランの中でごみの有料化は実施しています。単年度で使われなかった収益はごみ半減のために使いたいと思いますが、すぐに有効な施策が出ません。減量市民会議での意見も聞きたいと思います。

参加者 袋代を安くすることもできるのではありませんか。他市町村では安いところもありますよね。

参加者 配布する市町村もありますね。

事務局 安いところも有るとおっしゃっていますが、実はもっと高いところもあって平均的なところでやっていますのでご理解いただきたい。

参加者 高いごみ袋を作って配布するのは税金の無駄使いになると思います。

座長 アンケートでもう一点課題があります。プラなどを集めて燃やすのではないかという意見がありました。収集したあとどう生かされているかを周知する必要があると思いました。

#### ●自治会懇談会について

事務局 <自治会懇談会の日時・場所の説明>

座長 <自治会懇談会の出欠確認>

座長 次回の会議は2月16日ですが、実践しているキエーロがどうだったか簡単に報告してください。2月5日までにファックス等で事前送付してください。

また報告ですが、事務局からも来てもらい、健康づくり推進員連絡協議会の研修会の中で会員対象に簡単なごみの勉強会をしました。この会議の参加者が所属する団体で勉強会をしていけたらと思います。

次回の会議は今年度の最後で、今年度の総括と来年度の活動計画を話したいと思います。自治会の懇談会は継続していきたいと思います。

事務局 寿大学に聞いたところ、500人くらい集まる会もあります。それは多すぎると思いますが、なにかできたらと思います。

参加者 このアンケートに基づいて具体的にどういう活動をするかということは何時決めるのですか。

座長 2月16日、決めるじゃなくて、2月16日の大きなテーマになる。我々の空想だけでやってもしょうがないので、市民はこういう声ですよということをまとめて、じゃあ、こういうことから順番にやっていったらどうなのということをして16日に議論していきたい。

参加者 もしこの会の活動に対するご提案とか、アンケートのこともいいですが、ご意見があれば事前に提出するのはいかがですか。

座長 キエーロの報告を2月5日に出してもらいますので、その下のほうに自分の意見を書いていただいたら非常にありがたいです。

座長 最後に、ごみの出し方が自治会で問題になったとき、自治会長でちらしを作成しました。読まなくても分かるような工夫しています。こういった活動をしていることを報告します。本日はありがとうございました。